

惣開校区まちづくり集会 開催結果報告書

開催日時	平成23年8月3日(水)	19時～20時30分
場所	惣開公民館	
参加者数	男 34人	女 22人 合計 56人



1. 新居浜市連合自治会設定共通課題

課題名 (地域防災力の向上について)

討議内容 (要約)

市長説明

※再検討事項

なし

2. 校区設定市政課題

課題名 (星越山田社宅の保存と活用について)

討議内容 (要約)

(質 問)

平成22年4月、星越山田社宅の2棟(社長宅、監査役宅)が新居浜市の所有となり、保存活用検討委員会ができたことは大きな一歩であり、惣開校区でも自分達でできること

の具体的な取り組みを行っている。

22年度は、小学校親子ふれあい事業での社宅見学会や校区住民のウォークラリー、小・中学生による地域学習などワークショップをとおして地域の歴史や価値について啓発を行ってきた。23年度は、これまでのワークショップを更に充実させ、鷲尾勘解治の作務の精神を伝承しようと参加者や有志による清掃や草刈などの奉仕活動を行っている。

しかし、活動が続けるほど私たちに出来る限界を感じている。

そのようなことを踏まえ、次の点についてお伺いしたい。

- 1 市長も現地を視察されたと聞いているが、展望も含めて感想をお伺いしたい。
- 2 山田社宅の保存活用について、市としてどのエリアを考えておられるのかをお伺いしたい。
- 3 当面、2棟の管理運営についての考えをお伺いしたい。
- 4 山田社宅保存活用検討委員会での意見や市民の要望が別子銅山近代化遺産総合整備計画にどのように生かされるのか、その工程をお伺いしたい。
- 5 太鼓橋を利用し、選鉱場に行く遊歩道を整備して、惣開地区を一望できるようにすれば良いと思う。
- 6 星越地域を散策される方が多いので駅舎の横に男女別のトイレを設置してほしい。

(回答)

一番目の感想ということですが、改めてその広さに驚きました。昭和の初期に、銅山がなくなっても新居浜の町が廃れないように、新しいまちづくりを目指した新居浜後栄策の一環としての社宅づくりであり、その思想が表現されたものであると思います。

二番目のエリアですが、社宅棟ということに関しては、鉱山の所長宅の西側エリアがひとつの目安であろうと思います。

五番目の遊歩道、六番目の駅舎横のトイレにつきましては、選鉱場は、工場敷地内であり、坑水処理などの現役施設がありますので、全体の話が進む中で考えていく話であると思います。

(回答)

三番目の当面の2棟の管理運営ですが、とにかく使うことが必要であると考えております。もっと使いやすい環境にするため、仕組みづくりを検討委員会で検討していきたいと考えています。

また、改修費用の概算ですが、改修の方法や規模が未定のため、算出しにくいですが、主要構造をいじらずに、内装を改めて使用にかなう程度の改造であれば、坪30万円程度。構造補強と瓦の一部差し替えを組み込むと坪50から60万円程度と思われます。

四番目については、「別子銅山近代化遺産を活かしたまちづくり総合計画」の策定工程表に基づき説明。

※再検討事項

なし

3. 地域課題

課題名（ 惣開小学校～西の土居までの渋滞緩和 ）

質疑応答（要約）

（質 問）

惣開小学校～西の土居が頻繁に渋滞している。

主要道路の青信号の時間が短いので、信号の切り替わりが早いことが原因。信号が青になってから車が動き出すまでに時間がかかるため、切り替わりが早いと車の進み具合が非常に悪くなる。

（回 答）

信号機を管理する新居浜警察署に要望を伝えたところ、警察署でも渋滞の状況は把握されており、信号が連続する続木自転車点前交差点とその東側交差点の2箇所において、既に幹線道路側の青信号時間を長くするよう調整済ということでありました。しばらく様子を見ていただきたいとのことです。

※ 再検討事項

なし

課題名（ 県道 13 号リーガロイヤルホテル前の歩道 ）

質疑応答（要約）

（質 問）

県道 13 号 前田交番～西中学校北信号の歩道で、雨天時に水が溜まり歩行できない。柵のところが低くなっており、水が溜まる。

（回 答）

県道を管理する愛媛県東予地方局建設部に確認したところ、雨天時の水たまり解消に向け、今年度集水柵の土砂撤去作業を行う予定です。

また、リーガロイヤルホテル前の歩道は、雨水が浸透する透水性舗装の施工を今年度予定しております、との回答でした。

※ 再検討事項

なし

課題名（ 県道 13 号前田交番前～西条方面の道路 ）

質疑応答（要約）

（質 問）

県道 13 号の前田交番前～西条に向かう道路で雨天時に、道路の白線が非常に見えにくい。

（回 答）

県道を管理する愛媛県東予地方局建設部に確認したところ、ご指摘の区間について現地調査の結果、晴天時においては区画線が十分視認できる状況でした。

雨天時に区画線が見にくい原因として、当該区間の舗装は水を透さない構造のため、表面の僅かな冠水に周辺の照明光の反射が生じているのが一つの原因と考えられます。

なお、定期的なパトロールを行っており、その都度白線の損傷状況を確認し、必要があれば白線の引き直しを行う予定にしております、との回答でした。

※ 再検討事項

なし